

# もとす教道研会報 第22号 平成28年7月11日

発行所:岐阜もとすモラロジー事務所  
Tel/Fax 058-324-7756

## 総会・講演会を開きました!

平成28年6月18日(土)午前10時、北方町立北方西小学校ひまわり教室において、もとす教育者道徳研究会総会並びに講演会を開くことができました。平成28年度の実質的な活動のスタートです。

当日は、20名の方がご参加くださいました。ご多用中にも拘らず参加していただきました皆様、誠に有難うございました。

総会の進行を大野副会長、役員紹介・挨拶を森山会長、昨年度会務報告等を吉田書記、監査報告を神原監査、今年度活動案を吉田書記、予算案を北村会計が行い承認されました。神谷副会長の挨拶で無事に総会が終了しました。

### 森山会長のあいさつ要旨

「8年目を迎えました。瑞穂市・本巣市・北方町教育委員会はじめ多くの関係者に支えられて今日を迎えました。4月7日は2市1町の新しい教育長さん、校長会長さんをお訪ねし、激励を賜りました。また、『感謝の心・思いやりの心・自立の心』で誠実な社会貢献を続けておられるモラロジーの皆様にも感謝します。今年は、学祖である廣池千九郎博士の生誕150年です。お力添えをお願いします。



左から順に大野副会長、吉田書記、神原監査、北村会計、神谷副会長

## 平成28年度もとす教育者道徳研究会役員・理事

|     |       |                    |
|-----|-------|--------------------|
| 顧問  | 林 明夫  | 北方町教育委員            |
| 会長  | 森山 政紀 | 岐阜県モラロジー協議会事務補佐    |
| 副会長 | 國枝 孝治 | 瑞穂市立本田小学校教頭        |
|     | 大野 琴美 | 本巣市立外山小学校教頭        |
|     | 安藤 理加 | 北方町立北方小学校教頭        |
|     | 神谷 肇  | 岐阜もとすモラロジー事務所事務局長  |
| 書記  | 吉田 光宏 | 北方町立北方西小学校教諭       |
| 会計  | 北村 昌弘 | 北方町立北方小学校教諭        |
| 監査  | 大野 美紀 | 本巣市立本巣中学校教諭        |
|     | 神原 重典 | 岐阜もとすモラロジー事務所顧問    |
| 理事  | 堀 幸子  | 瑞穂市立本田小学校長         |
|     | 長谷川昇児 | 北方町北方西小学校校長        |
|     | 森 健治  | 岐阜もとすモラロジー事務所教育者担当 |

※今年度、理事枠の本巣市道徳部会顧問は空席

## 平成28年度 今後の主な活動計画

- 7月26日(火) 第53回岐阜県教育者研究大会岐阜会場  
13:00開会 岐阜市長良川スポーツプラザ  
他の県下3会場 ↑申込連絡者の参加費を負担します。
- ※8月 5日(金) 13:00大垣市スイトピアセンター2Fホール  
※ 10日(水) 13:00瑞浪市総合文化センター3F講堂  
※ 11日(木) 13:00関市文化会館小ホール
- 8月17日(水) 県道徳部会夏季ゼミ 各務原産業文化センター
- 12月23日(金) 役員・理事会 17:30 北方西小学校  
2月25日(土) 実践研究会 10:30 北方西小学校

# 講演：よく学び よく遊び よく働く 子どもとPTAと地域

講演者：翠 誠治(ミズ セイジ)氏

(元公立学校校長、元北方町教育委員長)

「今朝から張り切っていたのですが、大切な補聴器を家に忘れて来てしまうという大ミスをしてしまった翠です」と、軽妙な導入で講演が始まりました。

## 教師に憧れたきっかけは…

私は下村湖人著『次郎物語』を読んで、主人公・次郎が尊敬する恩師の朝倉先生に深く感銘を受けたからでした。「良いことを2倍にも3倍にもできる」教師という仕事の素晴らしさを感じたのです。

## 大学生活で得たもの

大学では心身を鍛えることを目指しました。集団技能のサッカーは組織がなく断念。剣道の道を志しました。周囲に押されて自治会役員選挙へ、最多得票をいただいて委員長になりました。社会への関心を高め、体験を広げる、豊かな経験をさせてもらいました。

## 子どもの心に寄り添う～どの子にも学ぶ喜びを

初任校は郡上郡の中学校でした。赴任してくる教員が長続きせず、「先生運が悪い」地域の嘆きを聞きました。生徒たちが落ち着かない、



荒れている一因でした。生徒のために「できることは何か…」真剣に考えました。

熱心に聴き入る

参加者の皆様



講演中の翠 誠治氏

生徒は学びたいのに学ぶ場が乏しかったのです。若輩なので宿直をかって出て放課後にも教えることにしました。そのためにも、自らが学び続けることは大切。『差別はごめんだ』を契機に『同和教育の授業』等を参考にしました。長い冬休みを利用し斎藤喜博先生の学校訪問、教授学研究会への参加。どの子にも学ぶ喜びを伝えたい一心でした。生徒たちの意欲が大きく変わりました。私も自信がついてきました。

## 教育実践「よく学び よく遊び よく働く」

授業進め方の基本を「個人学習（一人学び）→組織（仲間学び）→全体（全員学び）→整理（一人まとめ）」とします。互いの学び合いもあり、自ら取り組む意欲が高まります。遊びは、キャンプ等をよくやりました。青年団とも交流し、郡上踊りやスキーも上達しました。

## 「本当は学びたいんだよ」

校内暴力が社会問題だった頃、校長が休職になった中学校に替わり、保健室がボス・グループに占拠される事件がありました。「荒れるには原因がある」彼等は授業に付いて行けない不満を抱えていました。「家庭訪問で勉強を教えてもらえる」ことが彼等の自信回復につながりました。名誉挽回、生徒会長として活躍する生徒にまでなりました。

## 地域に愛される学校

校長として赴任したのは山間の小学校でした。教授学の仲間にも協力していただき、子どもたちが学力も付け「楽しくて休まない」学校になりました。協力的な地域の皆様にも愛される学校になりました。

## 自ら考えて働く子に～自問教育～

最後の勤務校も小学校。やらされるのではなく、自らの心に問うて進んで掃除をする。視察に行ったり、講師に指導してもらったりして実践しました。家庭でも進んで良く働くようになったと喜びの声が…。



講演会の進行を安藤副会長、講演者紹介を林顧問、お礼の言葉を森山会長が行いました。【構成・森山】